

アンケートに対する各委員からの意見および対応

1 個別アンケートについて

No.	意見	対応策
①	【保護者・18歳以上】 問2 1について、考える力（科学的思考力）も挿入すべき	問2は教育基本法第2条（教育の目標）から作成した設問に変更し、内容的に「考える力」も含まれるものとする
②	【保護者・18歳以上】 問2 3について、生きる力、平和、人権、民主主義を挿入すべき	問2は教育基本法第2条（教育の目標）から作成した設問に変更し、内容的に「生きる力」「民主主義」も含まれるものとする
③	【保護者・18歳以上】 問2は次のような選択肢にする 問2 お子さんが通う学校に期待する教育内容をお聞かせください。 （当てはまるものを3つまでお選びください） 1 創造性豊かな学力を身に付けさせること 2 自他を大切に作る豊かな人間性を養うこと 3 充実した生活の土台となる健やかな身体を養うこと 4 何事にも主体的に取り組む自主・自立の精神を養うこと 5 友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てること 6 平和で幸せな社会の形成に寄与する精神と態度を養うこと 7 生命を尊び、自然や生活環境を大切に作る態度を養うこと 8 伝統と文化を尊重し、育ってきた地域や我が国を愛する態度を養うこと 9 国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てること	問2を同左の選択肢に変更し、あわせて問の内容も「期待する」にすると全ての教育内容を期待していると考えられるため、「力を入れてほしい」に変更する

No.	意見	対応策
④	【保護者・18歳以上】 問2の内容は教育を体系的に網羅した教育的内容にのみすべきで、施設に関する意見を混在させるのは、避けるべき。回答を2つ選択とすると、それぞれの内容のききたい選択肢が明確にならないと思われる。両者を聞きたい場合、「問」を分けて設定してはどうか。	問2は教育基本法第2条（教育の目標）から作成した教育的内容のみにまとめ、改めて問3で施設に関する内容を伺う設問を設ける
⑤	【保護者】 問11～問20は小規模校対策を統合ありきの誘導的設問になっており見直すべき	問11の小規模校対策の必要性に関して「不要」も選択可能であり、問19、20は小規模校存続のため必要なことを問う問のため、誘導はになっていない、また、小規模校対策がこの審議会の検討事項の一つであるので、市民の意見を聞く上で必要である問として変更なし
⑥	【児童・生徒・保護者】 児童・生徒と保護者はアンケートを分けた方がいい（アンケートの入り口から分けた方がいい）	分けて作成する
⑦	【児童・生徒】 児童・生徒への自由意見も設定すべき	設定する

2 アンケート全体について

No.	意見	対応案
①	問の前に「学校への期待」のようなキーワード入れたほうがいい	項目が変わるごとにキーワードを入れる
②	未就学児の保護者に対してもアンケートを行った方がいい	新たに作成してアンケートを行う
③	公立の学校は地域の特性に合った設置であるべきで、適正規模や適正学級数など設定してはならないと考える。子どもの教育・生活をあくまでも基本にそこから外れないように考えるべきである	地域の特性に合った学校を考えるとともに、子どもの教育・生活を考えるうえである程度の基準は必要とし、青梅市学校規模適正化基本方針から適正規模や適正学級数を参考資料として示す
④	こういったアンケートはむしろ、一定の方向性が決まってからの地区ごとの検討会において「地域の特色ある学校づくり」への市民参加を促す（意見を取り入れる）過程で行うべきではないか	一度実際の市民の声として意見をいただいたうえで方向性を決める一助とするため、今回アンケートを行う

